

ヤマノイモ科 ヤマノイモ属

カエデドコロ (楓野老)

Dioscorea quinquelobata Thunb.

の位置づけ

千葉県の



自生環境

山地、林縁 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



千葉県は自然分布の境界に位置するのでしょうか。県内の自生地はわずかです。もともと風前の灯火状態であるところに開発の手が及ぶと、一発で絶滅する恐れがあります。

市内の分布状況

西日本に多く見られる植物です。千葉県は分布の境界付近にあるためか、数はかなり少なめです。

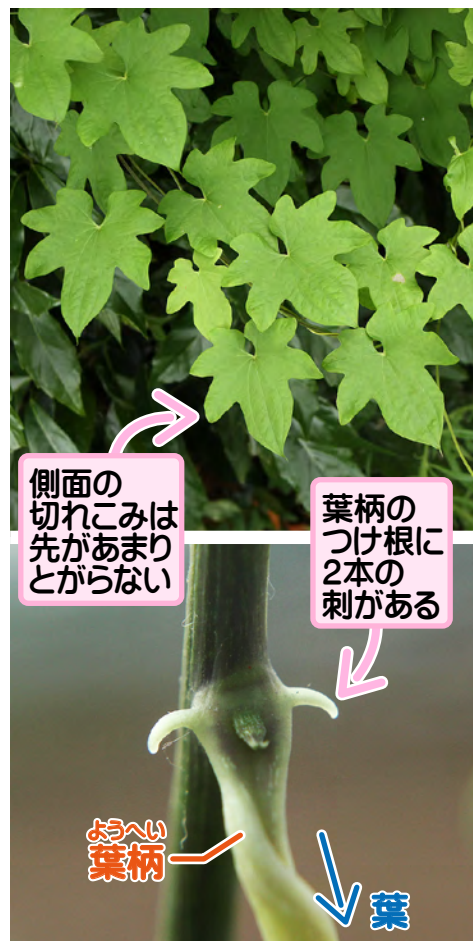
自生環境保護のため 場所は非公開です

特徴

- ☆ 山地に自生する多年草で、西日本に多く自生しています。自然分布域のはずれに位置している関東付近では個体数が少なく、滅多に見られません。太い根を横にのびながら広がっていきます。いわゆる自然薯の仲間ではありますが、有毒です。
- ☆ 茎はつる性で、草木に絡みつくようにしながらどんだんのびていきます。葉は掌状に切れ込みます。葉柄のつけ根には2本の刺のようなものがあります。葉は乾燥しても真っ黒にはなりません。
- ☆ 夏、葉のわきから花の穂を出し、ややオレンジがかった黄色い花を多数咲かせます。雌雄別株です。雌株は花後に果実の穂がぶら下がります。穂は下向きですが、個々の果実は上向きにつきます。果実は成熟すると少し開き、すき間から薄い翼のついたタネが顔を出します。タネは風の力によって運ばれます。

カエデとモミジがある

ヤマノイモの仲間の中は国内に17種ほどあり、その中で名前が似たものとして、カエデドコロとモミジドコロの2つがあります。モミジドコロは正式にはキクバドコロと言い、本州～九州の山地に自生します（市内には分布しません）。両者は見た目もよく似ていますが、キクバドコロは葉の切れ込みの先がとがり、葉柄のつけ根には刺はありません。またキクバドコロは葉が乾燥すると黒くなります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

